

「心のケアにも均てん化を」プロジェクト in 沖縄のお知らせ

東海大学医学部 保坂 隆
(<http://hosaka-liaison.jp/>)

がん対策基本法の制定以来、がん医療の均てん化という理念は既に国民の間にも浸透してきましたが、私は「心のケアにも均てん化を」という理念でこれまでも研究や臨床を行ってきました。具体的には、90年代に乳がん患者さんを対象にして日本で初めての「がん患者のグループ療法」を開発し臨床への応用を実施してきました。しかし、主として診療報酬化されていなかったためと、人材がいなかったために、一般化されることはありませんでした。そこで、2007年から3年間、厚生労働省科学研究班を立ち上げ、ファシリテーター養成講座を全国的に開催し約1,200名に受講していただきました。



その課程で、地域における心のケアの具体的な方法が確立されていないことと、患者会で行われているピアカウンセリングの質を担保する必要性を感じました。そこで、がん患者さんや家族らに対する、ソーシャルサポートを基盤とした実際の先駆的な介入法を、病院モデル・地域モデル・患者会モデルとして提唱し、その有用性を検証することを目的として、2010年度からの厚生労働省科学研究班を申請しましたが、残念ながら今回は採択されませんでした。

しかし、研究費はいただけなくても、この3つのモデルをこの1-2年間の試行錯誤によって開発し、それを全国展開していきたいと考えようになりました。そして、その地域選択の際に、これまでの3年間の研究班で全国を歩いた中で、一番、患者さんや医療者の気持ちがあたたかく、それでいて現時点では必ずしも円滑なモデルが完成されていない沖縄を選ばせていただきました。下記の3つのモデルのうちで、②③を、ぜひとも沖縄で完成させたいと思っています。

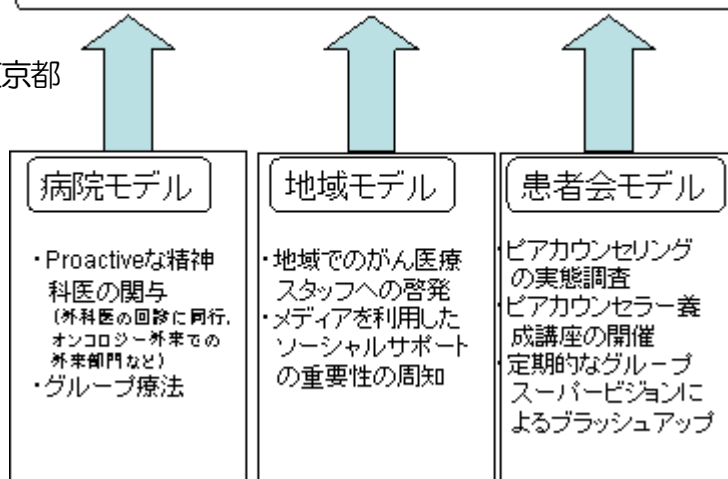
その第1回目の会合を4月17日(土)に開催させていただくことになりました。この『心のケアにも均てん化を』プロジェクト in 沖縄の第1回目からぜひご参加をお願いしたいと思います。

①病院モデル：精神科医が外科医の回診や、外科外来に出向き、proactiveな心のケアを提供するモデルですが、これは東京都内で試行予定です。

②地域モデル：地域でがん医療に携わる医師・コメディカルを対象にした「がんカウンセラー養成講座」の実施により、地域のがん患者のQOLの向上を目指す。

③患者会モデル：全国の患者会で行われているピアカウンセリングの現状調査を行い、「ピアカウンセラー養成講座」のプログラムを作成していきます。

ソーシャルサポートを基盤とした心のケアの均てん化



4月17日(土) 15:00~
那覇市立病院3階講堂

担当：医療法人光風会 北山病院
看護師 儀間真由美
mamiru927@ybb.ne.jp